

朝晩は白い息が見えるほど寒くなり、葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色づき始めました。体調を崩しやすくなる冬に向け、心も体も元気に過ごせるよう、手洗い・うがいをしっかり行っていきましょう。

水ぼうそう

赤い米粒大の発疹が胸や背中、お腹などに出始め、半日から1日で全身に広がり、強いかゆみを伴います。同時に、37～38℃の熱が出ることもあります。次第に発疹の中央に水ぶくれができ、白っぽい膿を含んだ発疹に変化し、3～4日で黒いかさぶたになって、かゆみが治まります。発疹は虫刺されによく似ているので、症状の出始めは注意が必要です。症状が出たらすぐに受診しましょう。また、学校感染症に指定された病気なので、医師の許可を得てから登園するようにしましょう。予防接種を受けておくと、かかっても軽症で済むことが多いようで、1歳過ぎから受けることができます。

おうちでは...



発疹をかきむしらないよう、爪は短くし、手洗いをしましょう。



お風呂やシャワーで汗を流し、肌を清潔にしておくこと、かゆみも軽減し、化膿しにくくなります。



口の中にも発疹ができます。おなかの消化がよく刺激の少ない物を与えましょう。

▼▲水痘について▼▲

水痘は「水ぼうそう」とも言われ、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。健康な子どもの場合、一般に軽症ですみますが、中には重症化し入院が必要になったり、死亡することもあります。毎年約100万人が発症し、脳炎や肺炎などの重い合併症があります。

水痘の予防接種は今まで任意接種でしたが、**平成26年10月**から**予防接種法に基づいた定期接種**となりました。

対象者は1・2歳児ですが、久留米市では**平成27年3月31日までの特例**として3・4・5歳児も無料で接種できます。



予防接種について

予防接種は、自然に感染すると重症化しやすい病気に対してつくられています。病気にかかる前に免疫をつけたり、感染を防いだり、また、かかっても軽くてすむようにするものです。「任意接種」は、接種してもしなくてもいいのではないかとわがちですが、重症化しないためにも任意接種も受けておくことが望ましいでしょう。